

SDGs宣言書

墨田区長 様

私たちは、持続可能なまちづくりに向け、下記のとおり、SDGsの推進に墨田区とともに取り組むことを宣言します。

<宣言日・変更日> 令和4年8月3日・令和5年11月16日

企業・団体名：NPO法人さくら車いすプロジェクト

代表者 役職：代表理事

氏名：篠田 浩之

記

事業者・団体等としての2030年までのあるべき姿	当NPOは一步先を歩むことができた日本だからできる、発展途上国障害者の自立応援活動をしています。異なる国同士が協働すれば、素晴らしい状態が生まれることを示し、これからの世界に少しでも絆を取り戻すモデルとなることを目指しています。										
・ 関連するSDGsの目標すべてに○をご記入ください。（複数選択可）											
<input type="radio"/>											
		<input type="radio"/>				<input type="radio"/>					
						<input type="radio"/>		<input type="radio"/>			
・ ○を記入していただいたSDGs目標の達成に向け、すでに具体的に取り組んでいること、又はこれから取り組むことをご記入ください。											
墨田区を拠点の一つとして、全国の子椅子ユーザーや業者、障害者団体等から不要になった車いすを提供頂き、必要とする国の障害者団体に送っています。制度が整っていない国では車椅子業は成り立たず存在しないので、障害者団体が修理等の拠点となることを目指しています。そのために修理やメンテナンス更にフィッティング技術を現地にて、或いは日本に招聘しての伝承をセットにしています。18年程前から関わってきたパキスタンにおいては、障害者達の自助努力により、現在毎月500～600台の子椅子を製作して政府に納品（販売）するところまでステップアップしました。											
SDGs達成に向けた特徴的な活動	途上国は車椅子屋さんが無いので、障害者団体を修理の拠点としてモノとセットして技術の伝承を考えました。そこから「NPOさくら車いすプロジェクト」が生まれました。パキスタンにおいては、障害者やその家族が貧困から脱却できるだけでなく、自ら胸を張って仕事ができる場を起業したり、車椅子クリケットという障害者スポーツまで生み出し、国際試合を開催するまで高めました。										
宣言日から3年間の成果指標（定量的な目標）	国交70周年のパキスタンからカウンターパートの人を呼び、大使館での交流会を計画しています。また、モンゴルも国交50周年で友好訪問団が行くので、交流の応援として140台の子椅子を障害者団体に送付し、技術セミナーを開催する予定です。										
業種	その他 その他:非営利活動法人										
従業員（構成員）数	10 名 （うち外国人 1 名）										
所在地	〒 124-0013 東京都葛飾区東立石2-2-4 スイッチ株式会社内										
URL	http://sakura-wheelchair.org/										